

(別 紙)

平成25年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、国民健康保険法に基づいて設置される国民健康保険診療施設（国保直診）の管理者たる医師・歯科医師を会員とし、国保直診が多く立地している中山間地域・へき地・離島における保健・医療・介護・福祉の連携統合を図り、超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの充実強化と地域包括ケアシステムの構築を目的として、全国国保地域医療学会を開催するほか、種々の事業を積極的に実施しているところである。

国においては、世界一の超高齢社会を背景に社会保障制度の再構築を目的とした社会保障・税一体改革の推進のため、平成24年8月に社会保障制度改革推進法を成立させ、それに基づいて、平成25年8月に社会保障制度改革国民会議より最終報告書が提出された。そして同年12月に「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（いわゆるプログラム法）」を成立させた。この法律において改革の必要性が謳われている在宅医療と在宅介護の連携、医療・介護サービスの提供体制（地域包括ケアシステムの実現、要支援者の支援見直し等）、医療保険制度改革（国保の都道府県単位化等）、第6次医療法等の改正、公立病院改革（国による新たなガイドラインの作成）など国の医療制度改革の動向に注視しているところである。

また、平成24年4月に実施された診療報酬改定の影響（平成23年度との比較）を独自に調査した結果、収益面では、国保直診・中小病院にとって厳しい状況が続いている。そうした状況を踏まえ、平成26年4月の診療報酬改定に向けて、「中山間地域等における地域包括医療・ケアにかかる平成26年度診療報酬改定への要望書（平成25年9月27日付け）」（医科部門で地域包括医療・ケア体制充実加算の新設など延べ48項目、歯科部門で歯科治療総合医療管理料の見直しなど3項目）を厚労省事務次官、同省保険局長はじめ関係幹部に提出した。更に、平成24年4月改定において導入された「医療提供しているが医療資源の少ない地域に配慮した評価」について、算定対象地域に所在する国保直診病院の状況を調査したところ、ほとんどの病院において施設基準が満たせず評価が受けられない状況にあるため、施設基準の緩和について厚労省保険局長に要望書（平成25年10月22日付け）を提出した。今後とも、医療資源が限られた地域（医療従事者の確保等が困難で医療機関が少なく自己完結型の医療を提供している地域）への対応について、地域包括医療・ケアの充実とともに中山間地域等医療資源不足に悩む我々国保直診に対する支援を要望していくこととしている。

更に、平成25年4月22日厚労省より「専門医の在り方に関する検討会」の最終報告書が発表されたことを踏まえ、平成25年8月国診協内に「総合診療専門医対策委員会」を設置し、その後、全国自治体病院協議会（略称「全自病協」）とも連携して「標準的総合診療専門医研修プログラム」などを策定し、日本専門医機構組織委員会（総合診療専門医に関する委員会）に具

体的提言等を行った。引き続き、両協議会が早くから取り組んできた地域包括医療・ケア認定制度において、従事する医療人の育成に取り組んできた経験を総合診療専門医制度の構築に提言してまいりたい。

このような情勢を踏まえ、国診協においては国保直診ヒューマンプランの基本理念のもと、都市部の超高齢化も視野に入れた新しい時代における国保直診の役割、機能を確立し、医師・看護師の確保等その基盤強化を図るための事業の実施を最大の課題としている。その一環として、国診協として、既存の医師派遣システム支援の補完を目的とした医師の短期派遣支援の取り組みを始めたところである。

更に、消費税増税等による国診協の財政基盤への影響等に留意した一層の効率的な事業運営並びに経費の見直し等についても取り組んでいるところである。

今後とも、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会その他関係団体と緊密な連携を図りながら、事業を実施していくものとする。

1 組織（平成26年3月31日現在）

（1）会 員 808名

（2）役 員

会 長 1名（定員1名）

副 会 長 2名（定員3名以内）

常務理事 6名（定員8名以内）

理 事 36名（定員20名以上40名以内 会長、副会長、常務理事を含む）

監 事 2名（定員2名以内）

2 総会等の開催状況

（1）社員総会

① 期 日 平成25年6月18日（火）

② 会 場 東京都 アジュール竹芝

③ 主要議題（報告事項）

平成24年度収支予算補正について
（議決事項）

平成24年度事業報告の認定について
平成24年度収支決算の認定について
国診協定款の一部変更について
（協議事項）

全国国保地域医療学会について
地域医療現地研究会について
地域医療現地研究会について

(2) 理事会

1) 決算理事会

- ① 期 日 平成25年6月18日(火)
- ② 会 場 東京都 アジュール竹芝
- ③ 主要議題 (報告事項)
平成24年度収支予算補正について
(議決事項)
平成24年度事業報告の認定について
平成24年度収支決算の認定について
国診協定款の一部変更について
(協議事項)
全国国保地域医療学会について
地域医療現地研究会について

2) 予算理事会

- ① 期 日 平成26年2月26日(水)
- ② 会 場 東京都 アジュール竹芝
- ③ 主要議題 (議決事項)
平成26年度事業計画について
平成26年度収支予算について
会長専決事項委任について
一時借入金について
国診協諸規程の一部変更について
(報告事項)
第53回全国国保地域医療学会の結果について
(協議事項)
第54回及び第55回全国国保地域医療学会について
第28回及び第29回地域医療現地研究会について

(3) 国診協開設者委員会・都道府県国保直診開設者協議会会長合同会議

- ① 期 日 平成25年10月4日(金)
- ② 会 場 島根県 島根県民会館・サンラポーむらくも
- ③ 主要議題 第53回全国地域医療学会国保直診開設者サミット事前打合せ会
「日本の未来を見つめて～国保直診が都市に伝えるもの～」等

(4) 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議

- ① 期 日 平成26年2月26日(水)
- ② 会 場 東京都 アジュール竹芝

③ 講演 「医療法改正に向けて～診療報酬改定も絡めて～」

厚生労働省医政局指導課

医師確保等地域医療対策室・在宅医療推進室長 佐々木昌弘

(5) 正副会長会議

① 開催回数 11回

平成25年 4/11 5/17 6/18 7/23 8/9 9/11 10/3 11/19 12/20

平成26年 1/17 2/26

② 主要議事 国の動向への対応及び組織・事業に関する重要事項について

(6) 常務理事会

① 開催回数 6回

平成25年 4/11 5/17 6/18 10/3 平成26年 1/17 2/26

② 主要議事 国の動向への対応及び事業運営について

(7) 監事会

① 期日 平成25年5月17日(金)

② 主要議事 平成24年度事業報告及び平成24年度決算

3 国診協各委員会・打合せ会等開催状況

開設者委員会 3回(平成25年6/18 10/4 平成26年2/26)

全体会議 1回(平成25年4/11)

総務企画委員会 1回(平成25年6/6)

調査研究委員会 1回(平成25年7/23)

調査研究事業倫理委員会 1回(平成25年9/10)

広報情報委員会 4回(平成25年6/6 9/19 12/20 平成26年3/13)

地域医療・学術委員会 3回(平成25年5/17 7/5 平成26年1/24)

歯科保健部会 1回(平成25年6/7)

施設経営委員会 2回(平成25年6/6 7/23)

地域ケア委員会・各部会合同会議 1回(平成25年6/7)

人材派遣(医師含む)に関する検討会 2回(平成25年9/12 12/20)

地域包括医療・ケア認定制度審査委員会 2回(平成25年9/3 平成26年3/12)

地域包括医療・ケア認定制度運営委員会 2回(平成25年9/11 平成26年3/19)

国診協・全自病協との打合せ会(定例) 2回(平成25年9/11 平成26年3/19)

国診協・自治医科大学との懇談会 1回(平成26年2/27)

国診協・日本歯科医師会との打合せ会 1回(平成26年1/23)

医師臨床研修指導医養成講習会ディレクター会議 1回(平成26年2/14)

総合診療専門医制度対策委員会(国診協) 2回(平成25年9/6 12/26)

総合診療専門医制度対策委員会(全自病協と合同) 2回(平成25年12/19

平成26年1/14)

4 学会・研修会等の開催状況

(1) 第53回全国国保地域医療学会（鳥取県・島根県共同開催）

- ① 期 間 平成25年10月4日（金）・5日（土）
- ② 開催地 島根県民会館・サンラポーむらくも 交流会：ホテル一畑
- ③ 参加者 学会 2,767人（うち学生347人、一般市民（市民公開講座のみ）880人）
交流会 667人
- ④ メインテーマ 「医療発祥の地から日本を動かそう」
～地域包括医療・ケアを全国の都市へ～

⑤ 学会内容

1) 特別講演

演 題 癒しの国・出雲

講 師 藤岡大拙（元島根県立島根女子短期大学学長）

司会者 大塚昭雄（第53回全国国保地域医療学会副学会長）

（島根県：雲南市立病院名誉院長）

2) 会員宿題報告

演 題 連携と協働 ～Fine teamwork, Fine network の構築を目指して～

講 師 小野 剛（国診協常務理事）

（秋田県：市立大森病院長）

司会者 青沼孝徳（国診協会長）

（宮城県：涌谷町町民医療福祉センター長）

3) 国保直診開設者サミット ～国保直診の課題について市町村長とともに語ろう～

演 題 日本の未来を見つめて ～国保直診が都市へ伝えるもの～

司 会 者 北 良治（国診協理事・開設者委員会委員長）

（北海道：奈井江町長）

押淵 徹（国診協副会長）

（長崎県：国保平戸市民病院長）

助 言 者 中村博治（厚生労働省保険局国民健康保険課長）

発 言 者 坂本昭文（鳥取県：南部町長）

山碓英樹（島根県：飯南町長）

谷畑英吾（国診協理事）

（滋賀県：湖南市長）

金丸吉昌（国診協常務理事）

（宮城県：美郷町地域包括医療局総院長）

特別発言者 山口 昇（国診協常任顧問）

（広島県：公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問）

4) シンポジウム

演 題 地域包括医療・ケアを全国の都市へ
～神々の国・医療発祥の地から新たな地域医療神話を～

司 会 者 梶井眞二 (国診協理事)
(大分県：国東市民病院長)

高見 徹 (第53回全国国保地域医療学会長)
(鳥取県：日南町国保日南病院長)

助 言 者 渡辺俊介 (国際医療福祉大学大学院教授)
(東京女子医科大学客員教授)

発 言 者 渡邊賢司 (鳥取県：岩美町国保岩美病院長)
三上隆浩 (国診協歯科保健部会委員)
(島根県：飯南町立飯南病院副院長)

白川和豊 (国診協理事)
(香川県：三豊総合病院長)

佐伯晴子 (東京 SP 研究会代表)

特別発言者 柴田雅人 (国民健康保険中央会理事長)

5) 市民公開講座

演 題 地域で命を支える ～あったかで、優しい医療があるのです～

発 言 者 鎌 田 實 (国診協参与)
(長野県：組合立諏訪中央病院名誉院長)

瀬戸上健二郎 (国診協常務理事)
(鹿児島県：薩摩川内市下甕手打診療所長)

中 村 伸 一 (国診協理事)
(福井県：名田庄診療所長)

6) 研究発表 演題数 322題 (口演発表147題、ポスター討論175題)

【演題分類】

	演題分類	演題数		演題分類	演題数
(1)	臨床に関するもの	23	(15)	連携に関するもの (住民・行政・施設間)	25
(2)	看護に関するもの	45	(16)	教育に関するもの	19
(3)	薬剤に関するもの	5	(17)	保健事業に関するもの	16
(4)	臨床検査に関するもの	5	(18)	感染防御に関するもの	6
(5)	放射線に関するもの	7	(19)	安全管理に関するもの	12
(6)	栄養管理に関するもの	7	(20)	ターミナルケアに関するもの	13
(7)	リハビリに関するもの	19	(21)	患者サービスに関するもの	7
(8)	歯科・口腔に関するもの	14	(22)	情報開示・ITに関するもの	5
(9)	ボランティアに関するもの	0	(23)	医師・看護師確保に関するもの	9
(10)	介護に関するもの	12	(24)	住民団体 (患者側) に関するもの	5
(11)	在宅医療・ケアに関するもの	18	(25)	保健師に関するもの	10
(12)	診療施設の運営・管理に関するもの	7	(26)	事務職 (診療施設・国保連合会) に関するもの	8
(13)	行政に関するもの	7	(27)	その他	6
(14)	施設内チーム医療に関するもの	12			

7) 研究発表 ワークショップ 演題数 9題

○演題1 公立病院改革に関するもの (5題)

座長 荻野 健次 (国診協理事)

(岡山県：備前市国保吉永病院長)

村上 竜平 (香川県：三豊総合病院事務長)

○演題2 特定健診・特定保健指導に関するもの (4題)

座長 鎌形喜代実 (東京都：国民健康保険中央会常勤参与 (保健師))

長岡 奈美 (島根県：国民健康保険団体連合会副主任 (保健師))

8) 参加型ワークショップ (KJ法を含む)

【テーマ】地域包括医療・ケアを推進するための地域での問題点とその解決策

【ディレクター】岩崎 榮 (NPO 法人卒後臨床研修評価機構専務理事)

【タスクフォース】林 拓男 (広島県：公立みつぎ総合病院長)

佐々木学（長野県：諏訪中央病院医師）

中村伸一（福井県：おおい町国保名田庄診療所長）

榎尾光子（鳥取県：日南町国保日南病院居宅介護支援事業所管理者）

小玉 千恵（島根県：飯南町立飯南病院看護部長）

【グループワーク出席者】 40人

【サブテーマ】

《Aグループ：10人》

安心して暮らせる地域社会とは？そして、その問題点と解決策

《Bグループ：10人》

地域包括医療・ケアを取り組むための具体策（ノウハウ）と解決策は何か？

《Cグループ：10人》

超高齢化社会で都市部といわゆる地方との違いはあるのか。あるとすれば何か？その解決策は何か？

《Dグループ：10人》 ※テーマはAと同様

安心して暮らせる地域社会とは？そして、その問題点と解決策

9) 教育セミナー

○演題1 離島医療はおもしろい！

講師 白石 吉彦（島根県：隠岐広域連合立隠岐島前病院長）

司会者 春日 正己（島根県：町立奥出雲病院名誉院長）

○演題2 フランスの文化に触れてきました

～平成24年度 国診協海外保健・医療・介護・福祉視察研修報告～

講師 田中 佳人（広島県：公立みつぎ総合病院地域医療部緩和ケア科医師）

司会者 山田 大介（香川県：三豊総合病院泌尿器科主任部長）

○演題3 鳥取県西部在宅ケア研究会の13年間に渡る取り組み

講師 高場由紀美（鳥取県：小規模多機能型居宅介護「時の里」管理者）

司会者 濱崎 尚文（鳥取県：国保智頭病院長）

○演題4 多職種連携による歯科訪問診療

講師 占部秀徳（広島県：公立みつぎ総合病院歯科部長）

司会者 奥山秀樹（長野県：佐久市立浅間総合病院歯科口腔外科医長）

(2) 第27回地域医療現地研究会

① 開催期日 平成25年7月5日（金）・6日（土）

② 開催地 北海道帯広市、鹿追町、本別町

③ メインテーマ 『北の大地における地域包括医療・ケアの推進』

～国保診療施設の役割を考える～

④ 参加人員 230名

- ⑤ 内 容 先進的国保直診活動状況の視察研究
研修施設 鹿追町国民健康保険病院
鹿追町トリムセンター
本別町国民健康保険病院
本別町総合ケアセンター

(3) 地域包括医療・ケア研修会

- ① 開催期日 平成26年1月24日(金)・25日(土)
② 研修会会場 KFC ホール(第一ホテル両国内3F)
東京都墨田区横網一丁目6番1号
ナイトセッション会場 KFC ホールアネックス
③ メインテーマ 『伝えよう、真の地域包括医療・ケア』
～迫り来る超高齢化・多死社会を前に～
④ 参加人員 111名

○講演〔I〕「国民健康保険を巡る現状と課題」

講師：中村 博治(厚生労働省保険局国民健康保険課長)

○パネルディスカッション〔I〕

演題：『総合診療専門医～国保直診の実践から伝える技術と知識～』

発表者①：前沢政次〔北海道：ひまわりクリニックきょうごく所長〕

発表者②：中村伸一〔福井県：国保名田庄診療所長〕

発表者③：阿波谷敏英〔高知大学医学部医学科家庭医療学講座教授〕

○パネルディスカッション〔II〕

演題：『看取りのあり方・支え方～最期の場所をどう考えるか～』

発表者①：鈴木紀彰〔千葉県：国保直営総合病院君津中央病院長〕

発表者②：山脇みつ子〔滋賀県：公立甲賀病院訪問看護ステーション所長〕

発表者③：東條環樹〔広島県：北広島町雄鹿原診療所長〕

○講演〔II〕

演題：『超高齢化・多死社会を迎えるにあたっての動向と課題把握』

講師：印南一路〔慶應義塾大学総合政策学部教授〕

○ナイトセッション

「テーマ：本気で話そう～多施設・多職種の連携のために～」

司会：奥山 秀樹〔地域医療・学術委員会委員／長野県・佐久市立国保浅間総合病院技術
部長(兼) 歯科口腔外科医長〕

新鞍 誠〔地域医療・学術委員会委員／香川県・土庄町国保土庄中央病院内科、
三豊市国民健康保険財田診療所管理者〕

○研究発表(報告)

演 題：第52回全国国保地域医療学会優秀研究から

発表者①：大野知代子〔富山県：かみいち総合病院家庭医療センター看護師〕

「グリーンケア訪問」を通して在宅での看取りを考える～家で死ぬためにやっておきたい10のこと～

発表者②：南 眞司〔富山県：南砺市民病院長〕

「南砺における「地域包括医療・ケア」の構築」

発表者③：横田和男〔鳥根県：奥出雲町健康づくり推進室〕

「医師の地域赴任に必要な条件～「赤ひげバンク」招聘医師のアンケート調査から～」

○講演〔Ⅲ〕

演 題：『東日本大震災と復興に向けた活動～地域包括医療・ケアの実践から～』

講 師：川島 実〔宮城県：気仙沼市立本吉病院長〕

○講演〔Ⅳ〕

演 題：『周術期口腔機能管理による医科歯科連携の活性化』

講 師：岸本裕充〔兵庫医科大学歯科口腔外科学講座主任教授〕

○ランチョンセミナー

演 題：平成25年度「国診協海外保健・医療・介護・福祉視察研修（in スウェーデン）」から学ぶこと

講 師：大原昌樹〔香川県：綾川町国保陶病院長〕

○パネルディスカッション〔Ⅲ〕

演 題：診療所が面白い

発表者①：佐藤 誠〔鳥根県：浜田市国保あさひ診療所長〕

発表者②：藤原真治〔徳島県：美馬市国保木屋平診療所長〕

発表者③：高橋 健〔茨城県：常陸大宮市国保美和診療所長〕

○ミニ・シンポジウム

演 題：『超高齢化社会への対応～介護予防活動の実践から～』

発表者①：飯山明美〔北海道：本別町地域包括支援センター所長補佐〕

発表者②：北谷正浩〔石川県：公立羽咋病院リハビリテーション科士長〕

発表者③：江田佳子〔長崎県：佐々町地域包括支援センター係長〕

(4) 国保直診・口腔保健研修会

① 開催期日 平成25年10月3日（木）

② 開催地 松江東急イン

③ 参加人員 73名

④ 内 容

メインテーマ「“栄養”で地域連携」

○講演1 「食べる喜びを支えるために」

講師 大妻女子大学家政学部食物学科 教授
島根大学医学部 特別協力研究員・臨床教授
川口 美喜子 氏

○講演2 「南砺市における地域包括医療・ケアの構築」

～南砺市民病院に歯科口腔外科を開設して～

講師 南砺市民病院 院長
南 真司 氏

(5) 海外保健・医療・介護・福祉視察研修

- ① 視察期日 平成25年5月25日～5月31日
- ② 視察先 スウェーデン
- ③ 視察テーマ 「スウェーデンの保健・医療・介護・福祉」
～エーデル改革以降のスウェーデンにおける医療福祉の変遷～
- ④ 参加者 13名

(6) 医師臨床研修指導医養成講習会

- ① 開催回数 7回
(平成25年8/9～11 8/30～9/1 9/20～22 12/6～8 12/20～22
平成26年1/17～19 1/24～26)
- ② 受講修了者 国診協・全自病協会員施設指導医有資格者 331名 (平成25年度分)
(累計4,947名)

5 地域包括医療・ケア認定制度の認定

平成25年度	認定施設	8施設 (累計90施設)
	認定医	11人 (累計134人)
	認定専門職	15人 (累計260人)

6 厚生労働省老人保健健康増進等事業

(1) リハビリ専門職の地域包括支援センターにおける介護予防・日常生活支援総合事業への関与に係る調査研究事業

- ① 目的 本事業では、地域包括支援センターにおける介護予防・日常生活支援総合事業に生活期リハビリの知見を導入することにより、国民のニーズに合致したプログラムを作成し、事業の活性化を図る。
さらに、介護予防・日常生活支援総合事業に、運動機能向上・低栄養予防・口腔機能向上等の生活リハビリの知見を活用したプログラムを導入することで、地域における生活リハビリの適応拡大と高齢者の生活機能の維持・向上を目指すことを目的とする。
また、介護予防・日常生活支援総合事業におけるリハビリ専門職の関与のあ

り方について提言する。

② 実施施設 6施設

(2) 介護予防を推進するための地域診断に関する調査研究事業

- ① 目的 本事業では、従来の研究で、地域診断実施において課題となっていた「データ収集・分析」を効率化・精緻化するため、市町村の所有するデータ（介護レセプトデータ、要介護等認定データ、日常生活圏域ニーズ調査、医療レセプトデータなど）及び既存統計等を活用し、数箇所のモデル地域の高齢者の健康状態や、地域の社会資源等に関するデータを分析し、主に介護予防推進の観点から、地域における課題や住民ニーズ、必要な社会資源などの「地域診断」を試行することを目的とする。

また、地域づくりを実行できる人材を育成するためのプログラムを検討する（都道府県による地区町村支援の枠組みを想定し、都道府県職員向け指導者養成プログラム（市町村職員向け研修ツールを含む）とする）。

② 実施施設 6施設

(3) 過疎地域等における地域包括ケアシステムの構築に関する調査研究事業

- ① 目的 本事業では、国保直診における「地域包括医療・ケア」の取組と成果を整理し、現在国が進めている地域包括ケアシステムとの共通点ならびに類似点、相違点を抽出し、過疎地における地域包括ケアシステム構築に向けての方策について提言するとともに、高齢者が住みなれた地域で暮らし続けていくための地域包括ケアシステムのモデルを提示することを目的とする。

また、過疎地における地域包括ケアシステムの構築に向けたプロセスや留意点（地域資源の状況、医療・介護の連携状況等）を類型化して提示する。

② 実施施設 9施設

(4) 在宅移行支援の際の退院カンファレンスを題材とする地域包括ケアにおける医療介護連携・多職種協働の課題整理に関する調査研究事業

- ① 目的 本事業では、地域包括ケアシステムの円滑な実施に向けた医療と介護の一体的な提供を目指し、シームレスな体制構築と共に、多職種協働（連携）を意識したカンファレンスの在り方について提示することを目的とする。

特に、医療機関からの在宅移行に関しては、地域や場面ごとにばらばらに構築されつつある多職種連携の仕組みを有機的に連携させる方法を検討することで、より実効性のある地域包括ケアの推進が見込まれることから、退院時等における多職種協働によるカンファレンスの開催の在り方を示し、医療・介護の連携の方策を提示する。

② 実施施設 8施設

(5) 摂食・嚥下機能の低下した高齢者に対する地域支援体制のあり方に関する調査研究事業

- ① 目的 本事業では、摂食・嚥下障害のある高齢者の在宅移行時のシームレスな連携の好事例を収集して支援体制の構築のモデルを示すとともに、摂食・嚥下障害のある人を適切にスクリーニングし、必要なサービス提供につなげるためのアセスメント・ツールの開発を行うことを目的とする。

また、これらのツールを実際に使用する人材の育成方策についても検討し、在宅における摂食・嚥下機能障害のある高齢者を支援する地域連携体制のあり方について提言する。

さらに、セミナーの開催により、地域における摂食・嚥下障害のある高齢者への多職種連携による支援体制構築の必要性についての認識を広げていく。

- ② 実施施設 7施設

- ③ 関連事業

「摂食・嚥下障害のある高齢者の在宅療養支援セミナー」の実施

- 開催期日 平成26年1月18日（土）

- 開催地 島根県飯南町「飯南町保健福祉センター」

- 参加人員 51名

- 内容

講演Ⅰ「地域で行う食支援」

講師 菊谷 武（日本歯科大学口腔外科リハビリテーション多摩クリニック）

講演Ⅱ「病院のようにはいかない在宅でのNST」

講師 菅原由至（公立みつぎ総合病院外科部長）

ワークショップ ～グループ討議：事例検討～

総評 平野浩彦（東京都健康長寿医療センター研究所社会科学系専門副部長）

7 福祉医療機構社会福祉振興助成事業

- (1) 終末期にある者とその家族支援に関する事業

- ① 目的 終末期患者が、家族や住民と触れ合い、住み慣れた場所で、最期まで安心して暮らし続けられる支援を実践することを目的に、終末期患者・家族を中心に、医療・介護専門職や行政・ボランティア等の地域の社会資源が連携するための仕組みづくりを強化し、さらには、地域全体の終末期（看取り）に関する意識啓発を実施する事業

- ② 実施施設 3施設

8 表彰

- (1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰

- ① 表彰式 平成25年10月5日（金）（第53回全国国保地域医療学会）

- ② 会場 島根県民会館

- ③ 受賞者 表彰者 52名

(2) 全国国保地域医療学会優秀研究表彰

① 表彰式 平成25年10月5日(金)(第53回全国国保地域医療学会)

② 会場 島根県民会館

③ 受賞者 最優秀1名 優秀5名

9 国診協都道府県協議会等に対する支援

(1) 都道府県協議会振興費の交付

(2) 都道府県協議会等開催の国保地域医療学会等に対する助成

(3) 都道府県国保直診開設者協議会に対する助成

(4) ブロック協議会会議開催に対する助成

10 広報・情報提供の推進

(1) 「地域医療」誌発行 第51巻第1号～第51巻第4号

(2) 「地域医療」特別号(第52回全国国保地域医療学会特集)発行

11 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営